



現役中高生で構成する一般社団法人 Sustainable Game と 包括連携協定を締結

～SDGsの達成に向け、若者活躍のまちづくりを推進～

令和4年3月29日

京丹後市

京丹後市は、全国の中学生、高校生で構成し SDGs の普及や未成年の社会参画の促進に向けた事業を展開する一般社団法人 Sustainable Game との間で、SDGs の達成及び将来世代のニーズを反映させた持続可能な社会・経済の実現に資することを目的として包括連携協定を締結します。

本協定に基づき、中学校、高等学校等における ESD（持続可能な開発のための教育）の推進支援や将来世代と全国の企業等との「共創」を促進する仕組みの構築など、グローバルな視野を持ちながら様々な地域課題の解決に挑戦する将来世代の輩出に向けた取組を進めてまいります。

なお、同法人が自治体と包括連携協定を締結するのは、全国初となります。

記

1. 協定締結式

(1) 日時・場所

令和4年3月31日（木） 11時00分～

京丹後市役所峰山庁舎2階 205会議室

(2) 出席者

【一般社団法人 Sustainable Game】

代表理事 山口 由人（高2）／フレア事業部 大久保 陽果（高2）

【京丹後市】

市長 中山 泰／副市長 中西 和義／副市長 濱 健志朗／

教育長 松本 明彦

2. 連携事項

- (1) 学校等における ESD の推進に関する事
- (2) 将来世代と企業・NPO 等との「共創」の促進に関する事
- (3) 関係人口の創出・拡大に関する事
- (4) その他協定の目的を達成するために甲及び乙が必要と認める事

※一般社団法人 Sustainable Game、包括連携協定の詳細は別紙参考資料をご覧ください。

【問い合わせ先】

京丹後市市長公室政策企画課

電話：0772-69-0120

1. 団体概要

会社名	一般社団法人Sustainable Game
設立	2020年6月1日
代表理事	山口 由人 (高校2年生)
所在地	東京都豊島区
事業内容	SDGsの普及や未成年の社会参画の促進を目的とした事業を展開 ・イベントの開催 ・オンラインコミュニティの運営 ・メディアサイトの運営 ・ソーシャルアクション (社会貢献活動) の支援 等
メンバー数	全国の中高生38人 ※メンバーは「環境チーム」「広報チーム」「ジェンダーチーム」など、6つのチームのいずれかに所属し、事業運営を担当
協賛・協業企業数	約40社 クックパッド株式会社、パナソニック株式会社、株式会社ドコモgacco、味の素株式会社、大和ハウスグループ、パタゴニア日本支社、いちご株式会社、株式会社阪急阪神百貨店 他

2. 代表者略歴等

【山口 由人氏プロフィール】

2004年生まれ。幼少期をドイツで過ごし、経済格差や難民問題等の様々な社会課題に触れた経験から、帰国後、中学2年の時にSDGsの啓蒙活動を開始。中学3年(15歳)の時には、中高生のSDGs実現のための挑戦を後押しする任意団体としてSustainable Gameを創設。2020年には、クラウドファンディングを実施し一般社団法人に移行。

【京丹後市との関わり】

令和3年11月に開催した「ICT×地方創生甲子園」において、山口氏が未成年と企業との共創により社会課題の解決を促進する事業アイデアを提案し、グランプリを受賞した。

3. 事業内容の詳細

(1) 課題発見DAY (教育プログラムの提供)

フィールドワークを通じて社会課題を発見し、その解決策を考える中高生を対象とした教育プログラム。企業の社員や大学生、起業家とともに、多世代でプランを練り上げアイデアを発表する。これまでに6回開催し、約200人が参加。



(2) 共創プログラム

サステナブルな観点から事業課題を再認識し、改善策や事業をより持続可能にするためのアイデアとプランを中高生と企業の社員が共創する研修プログラム。これまで約30社が参加。



(3) SDGs Network U-18 (オンラインコミュニティの運営)

18歳以下を対象に、プロジェクトの仲間集めやイベント、企業のESGへの取組の共有を目的に運用しているオンラインコミュニティ (フェイスブックグループ)。SDGsや社会課題に関心のある全国の中高生約500人が登録。



(4) SPINZ (教育コンテンツの配信)

公募を通過したZ世代と同世代の芸能人が社会課題の解決に挑む様子を追うリアリティ番組をYoutubeにて配信。95万人が利用する教育プラットフォーム内にて、教育コンテンツとしても配信を行っている。



未成年のプロジェクト事例



長崎県の高中生から生まれたプロジェクト。規格外のみかんの皮からとれる精油を使いキャンドルを、実からは堆肥を開発。



アレルギー問題の解決に向けて起業を目指す高校1年生のアイデア。卵アレルギー患者の治療を容易にできるようにサポートする「たまご練習ボーロ」。



パナソニック株式会社を発起人として、Sustainable Gameがパートナーとして参画して製作した「さわって学べるSDGsキット」。

SDG s の達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する包括連携協定について

1. 現 状 課 題

- ・人口減少、少子高齢化の進行により、地域の活力低下が懸念される中で、若者のまちづくりへの参画、若者に選ばれるまちづくりの推進が求められている。
- ・特に、SDG s の達成に向けては、2030年以降に主役となる将来世代が主体的に取り組むことが必要不可欠。
- ・京丹後市未来チャレンジ交流センターの運営やICT×地方創生甲子園の開催等を通じて、高校生をはじめとする将来世代のまちづくりへの参画を促してきたところであるが、「若者のアイデアを形にして実現する」部分が課題となっている。

2. 目 的 (めざす姿)

SDG s の達成、将来世代のニーズを反映した持続可能な社会・経済の実現

3. 連携方策イメージ

1



ESDの推進

(持続可能な開発のための教育)

- 市内中学校、高校における探求学習等と連携し、希望に応じて社会課題の解決に挑むためのマインドセットを育む出前授業を実施。
- 全国の中高生ともつなぎ、中高生が自身のキャリアについても考えることができるプログラムを想定。

2



将来世代と企業・NPO等との共創環境の構築

- 中高生の社会課題の発見から共創までを包括的にサポートするプラットフォーム「Flare」を活用し、中高生と企業やNPO等とのマッチング、共創プロジェクトの伴走支援を実施。



2022年4月リリース



- (マッチングの流れ)
- ① 中高生が発案したプロジェクトを投稿
 - ② プロジェクトに対して企業等が共創申請
 - ③ 企業とオンラインで意見交換を行い共創できる部分を探す
 - ④ 共創プロジェクトの実施
- ※Sustainable Gameが中高生と企業双方の伴走支援を実施

3



「若者活躍の聖地」として発信 → 関係人口の創出・拡大

- 本市における共創プロジェクトの事例を、各種イベント、SNS等を通じて全国、世界へ発信。
- 将来的には、社会問題に関心のある将来世代を本市へ呼び込む企画など、「若者活躍の聖地」を目指した取組を推進し、関係人口の創出・拡大につなげていく。



京丹後市と一般社団法人 Sustainable Game との
SDG s の達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する
包括連携協定締結式

日時 令和4年3月31日（木）11時00分～

場所 京丹後市役所峰山庁舎2階 205会議室

次 第

1 開 会

司会：京丹後市市長公室長 川口 誠彦

2 出席者紹介・・・司会から紹介

Sustainable Game 出席者紹介

京丹後市出席者紹介

3 協定書確認・・・協定書文章読み上げ

「京丹後市と一般社団法人 Sustainable Game との SDG s の達成
に向けた若者活躍のまちづくりに関する包括連携協定書」

4 署名

※写真撮影

5 ご挨拶

Sustainable Game 代表理事

京丹後市 市長

6 記念写真撮影（集合写真）

※出席者別紙

一般社団法人 Sustainable Game ・ 京丹後市
SDG s の達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する
包括連携協定締結式 出席者

※敬称略

一般社団法人 Sustainable Game

代 表 理 事 山口 由人

フ レ ア 事 業 部 大久保 陽果

京丹後市

市 長 中山 泰

京丹後市副市長 中西 和義

京丹後市副市長 濱 健志朗

教育委員会教育長 松本 明彦

京丹後市と一般社団法人 Sustainable Game との
SDG s の達成に向けた若者活躍のまちづくりに関する包括連携協定書

京丹後市（以下「甲」という。）と一般社団法人 Sustainable Game（以下「乙」という。）は、以下のとおり包括連携協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲及び乙が包括的な連携のもと、グローバルな視野を持ちながら様々な地域課題の解決に挑戦する将来世代の輩出に向け、中学校、高等学校等におけるESD（持続可能な開発のための教育）の推進支援、全国の企業やNPO、教育機関等との「共創」を促進する仕組みの構築などを行うことで、SDG s の達成及び将来世代のニーズを反映させた持続可能な社会・経済の実現に資することを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲及び乙は前条の目的を達成するため、次に掲げる事項（以下、「連携事項」という。）について連携・協力する。

- (1) 学校等におけるESDの推進に関する事
- (2) 将来世代と企業・NPO等との「共創」の促進に関する事
- (3) 関係人口の創出・拡大に関する事
- (4) その他協定の目的を達成するために甲及び乙が必要と認める事

2 甲及び乙は連携事項を効果的に実施するため、定期的に協議を行うものとする。また、具体的な協力内容については、甲乙合意の上、決定する。

（協定内容の変更）

第3条 甲又は乙のいずれかが、本協定の内容の変更を申し出たときは、その都度協議の上、書面により必要な変更を行うものとする。

（守秘義務）

第4条 甲及び乙は、連携事項の具体化の検討及び第2条第2項に基づき決定した協力内容の実施により知り得た相手方の秘密情報を、相手方の事前の書面による承認を得ずに第三者に開示又は漏えいしてはならない。

2 甲及び乙は、本協定が理由のいかんを問わず終了した後も、前項に定める秘密保持義務を負うものとする。

(有効期間)

第5条 本協定の有効期間は、締結日から令和5年3月31日までとする。ただし、本協定の有効期間が満了する日の1か月前までに、甲又は乙が書面により特段の申し出を行わないときは、有効期間が満了する日の翌日から1年間本協定は更新され、その後も同様とする。

(協議)

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関し疑義等が生じた場合は、甲乙協議の上、決定するものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ署名の上、各自その1通を保有するものとする。

令和4年3月31日

甲 京丹後市長

乙 一般社団法人 Sustainable Game 代表理事